

## 添付書類 1. 事業内容、事業の成果に関する写真

活動 1 : 対象集落の住民の水・衛生問題解決の能力向上のため住民組織を設立し、ワークショップを実施する

CAP (Community Action Plan) ワークショップ



アタバエ準県ハタズ村における CAP ワークショップ(水・衛生に関する問題についてのグループ・ディスカッションを通じて、住民の問題意識を養い、問題の原因と解決方法を探る手法)にて事業地住民へ説明を行う様子



アタバエ準県ハタズ村における CAP ワークショップ内で住民がグループワーク(写真では集落内にある水資源を含む集落内の地図を書いている)を行う様子



バリボ準県レオリマ村における CAP グループワークの成果を発表する住民

#### GMF（水管理委員会）の選出と研修



バリボ準県レオリマ村において、住民より選ばれた GMF（水管理委員会）に対して研修を行う様子（研修では GMF に求められた役割や、建設の際に必要な工具や、資材に関する知識などを学ぶ）

活動2：対象集落に水供給システムを建設する

実地調査



バリボ準県レオリマ村における水源の水量計測の様子  
水量は水共有システムの設計をする際に必要である



アタバエ準県ハタズ村における水源から村落への距離測定の様子  
そこから得られた情報を用いて設計が行われる

建設活動



アタバエ準県ハタズ村における住民による貯水槽の建設作業  
(写真は生コンクリートを準備し、貯水槽の外壁の形に注ぎ込む作業)



バリボ準県レオリマ村にて住民が蛇口台の建設作業を行う様子



住民に工具の使い方を指示する本事業スタッフ  
写真は鉄パイプをつなげるためにねじ状の溝を削る様子



バリボ準県レオリマ村にて完成したタンクを点検する本事業スタッフ



バリボ準県レオリマ村において完成した蛇口台で手を洗う事業地の子どもたち

**活動3 対象集落の住民の行動変容を通じて、保健衛生に関する習慣を改善する**  
**CLTS (Community-Led Total Sanitation) 活動**



受益者が図を使い屋外排便における問題を他の受益者に説明する様子。写真ではハエや、汚れた手、汚い屋外で遊ぶ幼児などが、屋外排便された便を拡散しうる媒体になる可能性がある事を説明している。



アタバエ準県ハタズ村内で発見した便を使い、便による汚染の説明を行う様子（手に髪の毛を持っており、その先に便を少量付け、その髪の毛を水の中に浸すことで、水の見え目がきれいでも汚染されている可能性があるという事を見せる）

#### トイレの設置のモニタリング



アタバエ準県ハタズ村にて受益者の設置中の簡易トイレをモニタリングする様子（日本で言う「ぼットン便所」である）



バリボ準県レオリマ村においてトイレを作る受益者  
トイレの素材はすべて村近辺から取れる木材などである

手洗いの設置のデモンストレーション



バリボ準県レオリマ村において設置された手洗い所を使う住民（手洗い所はティモールで一般的に使用されているプラスチックの容器と村内で取れる木材で出来ている）

衛生啓発活動



バリボ準県レオリマ村ポウル集落の小学校生が「世界手洗いの日」に村内を行進し手洗いの啓発をする様子



アタバエ準県ハタズ村における住民参加型ヘルス・クラブのイベント後のクイズに答える小学生



アタバエ準県ハタズ村における住民参加型ヘルス・クラブのイベントで小学生の描いた衛生的になった村の絵の発表を行う様子



バリボ準県レオリマ村における住民参加型ヘルス・クラブのイベントでトイレ使用の重要性について語る受益者